



2016年5月30日

## 第10回エコプロダクツ国際展（EPIF 2016）をタイで開催

- プラユット・チャンオチャ・タイ首相が4日間のEPIFの開幕を宣言
- テーマは低炭素社会の発展とグリーングロースをめざす「24時間エコライフ」
- エコイノベーション、エコプロダクツ、エコサービスをゾーン別に展示

アジア生産性機構（APO）は、アジア太平洋地域全体の加盟各国における持続可能な成長の実現という課題に取り組むために、タイ工業連盟（FTI）、タイ工業省、タイ生産性本部と共同主催のもと、第10回エコプロダクツ国際展（EPIF 2016）を2016年6月8日～11日にバンコク国際貿易展示場にて開催します。EPIFはアジアにおける最大規模の環境国際展示会のひとつで、タイでの開催は今回で2度目になります。



開会式では、プラユット・チャンオチャ・タイ首相が開幕の挨拶をします。また、この展示会と併催されるアジア環境経済会議「24時間エコライフによる持続可能な未来に向けた共同の取り組み」には、緑の生産性諮問委員会会長を務める馬田一・JFEホールディングス相談役、天野万利・APO事務局長のほか、タイおよび日本の主要な政策立案者や産業界のリーダーや、先導的な国際機関の代表者が出席します。「EPIFとその関連活動は、相乗的なビジネス機会を開拓・拡大すべく、エコ知識の普及を加速し、APO地域ひいては世界全体にグリーン市場を

拡大して持続可能な地球社会を作り出すことを目的としている」と天野事務局長は述べています。

EPIF 2016 は「24 時間エコライフ」というテーマのもと、気候変動による環境への影響を低減するための低炭素社会の発展とグリーングロースに焦点をあてます。また、展示会とアジア環境経済会議においては、日常的で身近な活動を通して市民が地球環境を保護するライフスタイルを提示します。

展示会場は、エコイノベーション、エコプロダクツ、エコサービスのゾーンに分けられ、自動車・輸送、建設資材、アパレル・繊維、食品・乳製品、コンテナ、電気機器、家具、IT・事務用品、物流、エネルギー、教育分野から、約 200 のタイを含めた世界の代表的な企業が従来の知識と現代のテクノロジーの両方を利用したソリューションを紹介します。日本からは 28 社が EPIF2016 に参加し、先端的なエコプロダクツとサービスを展示するほか、革新的な製品と事業活動を通して地球環境を保護する技術の普及に向けた取り組みを紹介します。

タイ工業連盟は、企業の業績とサステナビリティを評価するための「サステナビリティ・コーポレート・インデックス」ツールを紹介します。この評価結果は、さらなる展開を計画する基盤となります。4 日間の展示会と関連する会議のなかで、来訪者と出展者はビジネスマッチングのミーティングにも参加できます。また、VIP ブース・ツアー、エコリビング、エコキッズ、メインステージのイベントなど特別企画も用意されており、あらゆる層の来訪者が興味をもって学ぶことができます。

EPIF2016 の入場費は無料です。

\*\*\*\*\*

#### お問い合わせ先

APO 事務局 広報担当 (パース / 藤本)

Tel: 03-3830-0411; Fax: 03-5840-5322

メール: [sparth@apo-tokyo.org](mailto:sparth@apo-tokyo.org) / [yfujimoto@apo-tokyo.org](mailto:yfujimoto@apo-tokyo.org)

ウェブサイト: [www.apo-tokyo.org](http://www.apo-tokyo.org)

## FACT SHEET (ファクト・シート)

### APO

アジア生産性機構（APO）は生産性向上を目的としたアジア太平洋地域で唯一の国際機関です。1961年政府間協定の締結により設立されて以来、APOは生産性向上を通してアジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に重要な役割をはたしています。現在APOには20の国・地域が加盟しています。APOは研修、ワークショップ、セミナー、その他の能力開発の取り組みを通して加盟国の生産性向上を支援しています。

### 緑の生産性諮問委員会（GPAC）の設立

2003年、APOは優れた環境対策実績を持つ日本企業から助言や協力を得るために、緑の生産性諮問委員会（GPAC：Green Productivity Advisory Committee）を設立しました。GPACは、環境や経済問題に携わる企業経営責任者で構成されています。2015年5月現在、GPACには55企業が参加しています。本委員会の会長は馬田一氏（JFEホールディングス株式会社 相談役）、副会長は梁瀬行雄氏（オリックス株式会社 名誉顧問）、松村俊一氏（帝人株式会社 顧問 技監）、山本正己氏（富士通株式会社 代表取締役会長）、武馬吉則氏（花王株式会社 エグゼクティブ・フェロー（常務執行役員待遇）、山本良一氏（東京大学 名誉教授）、松川昌義氏（公益財団 日本生産性本部 理事長）の6名です。また、過去に同委員会の要職を務められた方々の多くが自主的に顧問をお引き受けいただく等、継続的なご支援をいただいています。

### エコプロダクツ国際展（EPIF）

2004年、APOはGPACの全面的な協力を得てEPIFを初開催しました。アジア太平洋地域におけるサプライチェーンのグリーン化に向け国際協力の強化を目指す展示会、そして同時開催される国際会議を通じ、各企業には自社の環境ビジネスを拡充する機会、政府関係者には政策のグリーン化の手法を探る機会が提供されています。EPIFは毎年異なるAPO加盟国において開催されます。回を重ねるごとに規模が大きくなり国際的な注目度も高まってきました。EPIFは今やアジア最大の環境展示会の1つとして、その地位を確立しています。

（ウェブサイト：<http://www.epif2016.com/>）

### 過去のエコプロダクツ国際展開催国

開催年	開催国
2004	マレーシア
2005	タイ
2006	シンガポール
2008	ベトナム
2009	フィリピン
2010	インドネシア
2011	インド
2013	シンガポール
2014	台湾